

# 満鉄的設立

全2巻



編集：遼寧省档案館

2004年11月発売

特価(2005年3月末日まで) ¥32,000(税別)

定価 ¥38,000(税別)

## 待望久しい満鉄経営の一次資料

老川慶喜(立教大学)

南満洲鉄道は1906(明治39)年11月26日に設立された。日本政府は、日露戦争後清国政府の承認を条件に、帝政ロシアの利権、すなわち「長春以南の東清鉄道、同附属地および炭坑等の権利」を譲渡された(日露講和条約、第6条)。満鉄はこの利権を維持・拡大するために設立された、資本金2億円の、当時としてはとてつもなく巨大な株式会社であった。

中国北東部の瀋陽にある遼寧省档案館は、70,000冊余にもものぼるいわゆる「満鉄档案」を所蔵している。満鉄档案とは満鉄が作成した経営資料のことであるが、同档案館の書庫に所蔵されている満鉄档案をみて、その量と質に圧倒されたのは私だけではあるまい。満鉄档案の全面的な利用が可能になれば、満鉄史の研究は著しく進展し、満鉄史像も大きく変化するのではないと思われる。本書は、その満鉄档案のうち満鉄設立期のものを収録した資料集で、遼寧省档案館副館長の趙煥林氏が中心になって編集したものである。

本書は上巻(493頁)および下巻(500頁)からなる大部のものであるが、満鉄档案全体からすれば、ごくわずかでしかない。しかし、本書には満鉄設立時の貴重な一次資料が収録されている。上巻に収録された「野戦鉄道概要」(明治38年7月)は野戦鉄道提理部の全貌を概説したもので、満鉄の設立前史をおさえることができる。下巻に収録されている「株主総会議事録」や「理事会決議」からは、設立時の満鉄がいかなる経営上の問題に直面していたかを知ることができる。興味深いのはあわせて7冊にも及ぶ満鉄沿線の「視察報告書」である。これによって1907年当時の鉄嶺、昌図、甲主嶺、四平、奉天、新民屯、撫順、遼陽、海城、大石橋、営口など沿線各駅の輸送状況を具体的に把握できる。

以上のように、本書は待望久しい設立時における満鉄経営の一次資料を収録した資料集であり、満鉄史研究に多くの新たな知見を付与するものと期待される。

(遼海出版社/日本総代理店:丸善)

**M MARUZEN**

丸善株式会社 [学術情報ソリューション事業部 企画開発センター]

〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル 7F

TEL 03-6367-6078 FAX 03-6367-6184 <http://www.maruzen.co.jp/>

営業部・支店・営業所=横浜・八王子・大宮・筑波/札幌・盛岡・仙台・名古屋・岐阜・金沢・京都・大阪・神戸・岡山・松山・広島・福岡・長崎・熊本・沖縄/ニュージャージー